

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-04-01	戦略プラン	○協働	○業務	●財務	○人事
事務事業名	道路占用等事務	部課名	防災都市づくり部施設管理課	課長名	川原	担当者名	山崎
				内線	2714		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-03-01	道路占用事務費					
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）			○建設事業		●それ以外の継続事業	
開始年度	●昭和 ○平成 28年度		根拠	道路法（同施行令、施行規則）、荒川区道路占用料等徴収条例、荒川区道路占用規則			
終期設定	○有 ●無 年度		法令等				
実施基準	●法令基準内 ○都基準内 ○区独自基準		計画区分	○計画		●非計画	
行政評価事業体系	分野	IV 環境先進都市					
	政策	08 良好で快適な生活環境の形成					
	施策	03 快適な生活道路の整備					
目的	道路占用許可、占用許可に伴う工事調整及び道路監察を通じて、道路の公共性の確保及び安全性の確保などを目的とする。 公園占用許可について、公共性の確保及び利用者への安全性の確保を目的とする。						
対象者等	東京電力、東京ガス、NTT、水道局、下水道局、鉄道事業者、区民						
内容	<p>【道路占用許可】公益事業者の占用（電気、ガス、通信、水道、下水道）及び建築足場や看板などの一般占用について道路法に基づき審査及び許可</p> <p>【公園占用許可】公園における工作物等の占用及び一時的な占用について、都市公園法及び荒川区立公園条例に基づき審査及び許可</p> <p>【道路監察】道路の不法占用の是正指導、占用申請の指導、道路通行の安全性の確保、違反広告物の撤去などを目的とし、日々道路パトロールを実施</p> <p>【特殊車両通行許可】車両制限令に基づき、重量、寸法の一般的制限値を超える特殊車両について通行を許可。通行経路が2以上の道路管理者にまたがる場合は、上位管理者からの協議への回答</p>						
経過	<ul style="list-style-type: none"> 道路占用料については、固定資産税の評価替えに伴い概ね3年毎に改定している。（平成28年4月改定） 公園占用料については、固定資産税の評価替えに伴い概ね3年毎に改定している。（平成28年4月改定） 						
必要性	道路・公園の公共性及び安全性を確保するために必要である。						
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） ・H27年度路上放置物等処分業務委託（一般・産業廃棄物収集・運搬処理業務） （株）環境整備 H27年4月からH28年3月末 ※収集については、約3か月に1回（223,338円）						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		予算額	1,665	1,306	1,040	1,039	1,151	574
①決算額（28年度は見込み）		770	607	375	340	589	437	993
②人件費等		20,859	20,267	19,800	23,360	23,633	25,970	
③減価償却費		8,134	8,708	9,036	10,816	12,354	13,993	
【事務分担当量】（%）		280	280	280	320	380	410	
合計（①+②+③）		29,763	29,582	29,211	34,516	36,576	40,400	993
特定財源	国							
	都							
	その他	道路占用料等	608,328	611,275	608,326	611,272	637,096	631,401
一般財源		-578,565	-581,693	-579,115	-576,756	-600,520	-591,001	993
実績の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	占用許可件数（大規模・小規模・一般）	1,615	1,916	1,733	1,384	1,288	1,555	
	監察件数	31,009	16,949	13,569	12,911	12,496	14,784	
	特殊車両許可件数	257	416	288	334	234	242	
	道路幅員証明件数	34	20	23	33	32	23	

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
需用費	事務用品	143	需用費	事務用品	98	需用費	事務用品	123
役務費	監察用携帯電話通話料	39	役務費	監察用携帯電話使用料	39	役務費	監察用携帯電話使用料	77
委託料	不法投棄物処理委託	346	委託料	不法投棄物処理委託	300	委託料	不法投棄物処理委託	793

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)	
標	① 占用許可件数	1,384	1,288	1,555	1,500	1,500	
	②						
	③						

（問題点・課題分析）	<ul style="list-style-type: none"> 大地震等の災害時にライフラインの早期復旧を図るため、占用企業者との適切な役割分担 不法投棄及び不法占用（商店の商品陳列等）に対する効果的な対策の実施
	他区の実況 （実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	道路占用企業者の耐震化進捗状況を確認するとともに、占用企業者と区の役割分担を検討する。	道路占用企業者の耐震化進捗状況について適宜把握を行った。	道路占用企業者の耐震化進捗状況を確認するとともに、占用企業者と区の役割分担を検討する。
②	<ul style="list-style-type: none"> 警察等関係機関と連携し、商店街等に対する指導強化 道路パトロールを通じた不法占用の改善及び不法投棄対策 	警察等関係機関と連携し商店街等の不法占用に対し指導を行った。	<ul style="list-style-type: none"> 警察等関係機関と連携し、商店街等に対する指導強化 道路パトロールを通じた不法占用の改善及び不法投棄対策
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
推進	継続	道路及び公園を適正な状態で管理するため、必要な事業である。

況議 （要旨） 会 質 問 状	
--------------------------------	--

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
需用費	印刷製本費、事務用品	101	需用費	印刷製本費、事務用品	241	需用費	印刷製本費、事務用品	248
役務費	占用回線使用料	118	役務費	占用回線使用料	118	役務費	占用回線使用料	119
使用料等	端末機リース料	208	使用料等	端末機リース料	169	使用料等	端末機リース料	170
負担金補助等	運営負担金	2,295	負担金補助等	運営負担金	2,055	負担金補助等	運営負担金	2,054

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)	
標	① 大規模占用申請件数	268	94	90	200	200	
	② 小規模占用申請件数	1,065	879	1,213	1,200	1,200	
	③						

（問題点・課題分析）	<ul style="list-style-type: none"> 道路管理センターの運営並びにシステム開発経費は、システム参加団体が負担しているため、その予算及び決算について適切な監視が必要である。 電線共同溝システムの運用開始に向けた環境整備が必要である。
	他区の実況 （実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	<ul style="list-style-type: none"> 道路管理センター次年度予算原案の確認 継続的なシステム改善と開発要望 	道路管理センターの次年度予算原案の内容を確認及びシステム改善と開発要望を行った。	<ul style="list-style-type: none"> 道路管理センター次年度予算原案の確認 継続的なシステム改善と開発要望
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
継続	継続	道路管理事務や占用企業者の申請処理業務など、事務の効率化のために必要な事業である。

況議 （要 旨） 問 状	
--------------------------	--

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-04-04	戦略プラン	○協働 ●業務 ○財務 ○人事
事務事業名	占用工事道路復旧事業	部課名	防災都市づくり部施設管理課	課長名
		担当者名	大湊	内線
				2714
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-01-01	工事費		
	01-01-02	道路復旧調査費		
	01-01-03	事務費		
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）		○建設事業	●それ以外の継続事業
開始年度	●昭和 ○平成	28年度	根拠	道路法、道路占用工事要綱
終期設定	○有 ●無	年度	法令等	
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	○計画 ●非計画
行政評価事業体系	分野	IV	環境先進都市	
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成	
	施策	03	快適な生活道路の整備	
目的	企業が行う占用工事に関して、復旧方法・構造・範囲・時期を調整することにより、道路の掘り返しを抑制し、地域交通への影響を低減させる。			
対象者等	対象道路：特別区道、荒川区管理通路、認定外道路 対象者：都水道局、都下水道局、東京ガス、東京電力、NTT			
内容	<p>1 復旧方法</p> <p>(1) 自費復旧：占用企業者自ら自費にて復旧する。</p> <p>(2) 受託復旧：占用企業者から本復旧費を徴収し、区が本復旧を行う。</p> <p>一般工事による復旧（道路復旧工事）</p> <p>応急復旧工事（道路応急復旧工事）</p> <p>※受託については、占用工事の重複や道路全体で整備が必要と思われる場合に実施。</p> <p>2 復旧指導 占用工事毎に区担当者が現地の立会い、構造・範囲・時期の指導及び竣功検査を行う。</p> <p>3 調整業務 年4回の道路工事調整会議を行い、工事内容・工程・競合などを調整する。</p> <p>4 復旧費の徴収 各占用企業者から月ごとに受託工事費及び監督事務費を徴収する。</p>			
経過	<p>～平成10年度：道路課所管</p> <p>平成11年度～：土木管理課所管</p> <p>平成25年度～：施設管理課所管</p>			
必要性	占用工事は、区民生活に必要なライフラインを整備するものであり、これを適切に指導・調整することは通行の安全と道路環境の向上につながり、必要不可欠なものである。			
実施方法	<p>（2一部委託）（直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員）</p> <p>道路復旧工事（総価契約） 予算額 26,776千円（道路公園課へ執行委任）</p> <p>道路応急復旧工事（単価契約） 山藤建設工業 金額 32,560千円</p>			

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額		69,794	115,050	43,433	43,870	70,067	66,427
①決算額（28年度は見込み）		67,234	113,028	42,299	42,210	66,373	61,684	62,306
②人件費等		18,487	17,969	17,579	16,200	13,953	11,670	
③減価償却費		8,134	8,708	9,036	8,788	7,477	6,826	
【事務分担当量】（%）		280	280	280	260	230	200	
合計（①+②+③）		93,855	139,705	68,914	67,198	87,803	80,180	62,306
特定財源	国							
	都							
	その他	受託工事費及び監督事務費	127,755	127,654	112,954	105,997	75,081	87,409
一般財源		-33,900	12,051	-44,040	-38,799	12,722	-7,229	62,306
実績の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	占用工事（自費復旧）調定金額（千円）	53,303	45,560	53,556	40,005	38,721	51,099	
	占用工事（受託復旧）調定金額（千円）	74,451	82,094	59,398	65,992	36,360	47,797	
	道路復旧工事実施路線数	7	12	2	3	6	5	
道路応急復旧工事実施件数	33	33	31	24	30	26		

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
需用費	印刷製本費	187	需用費	印刷製本費	311	需用費	印刷製本費	497
委託料	測量調査	1,609	委託料	測量調査	1,836	委託料	測量調査	2,472
工事請負費	道路応急復旧工事費	64,576	工事請負費	道路応急復旧工事費	59,537	工事請負費	道路応急復旧工事費	59,337

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)	
標	① 復旧指導件数	1,065	973	1,262	1,100	1,100	自費復旧、受託復旧の合計数
	② 自費復旧指導件数	829	790	1,052	900	900	
	③ 受託復旧指導件数	236	183	210	200	200	

（問題点・課題分析）	各占用企業者が、耐震化や需要の変化へ対応するための設備更新を早急に進めている一方、企業者間の調整や企業者工事と区道路補修計画との調整を図ることにより、効率的な工事施行が強く求められている。
	（実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）
他区の実況	

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	各占用企業者の道路工事計画を早期に把握し、効率的に工事が施行されるよう、指導及び調整に努める。	掘り返し抑制や円滑な工事施行を推進するため、道路工事調整会議や工事監督員会議を開催し、指導及び調整に努めた。	各占用企業者の道路工事計画を早期に把握し、効率的な工事が施行されるよう、指導及び調整に努める。
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
推進	継続	占用工事に伴う工事調整や復旧整備は、道路を良好に維持するために不可欠である。

況（要旨）	議（要旨）	問（要旨）	状（要旨）
-------	-------	-------	-------

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-04-05	戦略プラン	○協働	●業務	○財務	○人事
事務事業名	道路管理事務	部課名	防災都市づくり部施設管理課	課長名	川原	担当者名	長野
							2718
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-05-01	道路管理事務費					
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）			○建設事業		●それ以外の継続事業	
開始年度	●昭和 ○平成		28年度	根拠	道路法		
終期設定	○有 ●無		年度	法令等			
実施基準	●法令基準内 ○都基準内 ○区独自基準			計画区分	○計画 ●非計画		
行政評価事業体系	分野	IV	環境先進都市				
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成				
	施策	03	快適な生活道路の整備				
目的	区道の認定・改廃、境界確定、不法占有の解消等を行い、道路を適正に管理する。						
対象者等	区民等						
内容	1 区道の認定・改廃等 ・区道の認定・廃止・区道敷等の土地の寄附申請受理 ・細街路拡幅整備要綱、市街地整備指導要綱等に基づく区域変更 2 区道、管理通路及び法定外公共物の管理 ・道路等の境界確定及び現地標示 ・区道等土地境界証明及び区道等区域証明の発行 ・公共基準点の管理保全 3 不法占有対策 ・建築確認申請時による不法占有の状況把握及び指導 ・不法占有解消に伴う道路境界保全工事 ・法定外公共物の売払い申請受理						
経過	平成11年度 道路認定事務（一般道路）と補足測量事務等を統合し、道路管理事務費とした。 平成20年度 公共基準点の管理保全開始						
必要性	区道等を適正に管理する。						
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） 補足測量及び公共基準点測量委託：テクノリサーチ(株) 4,149,688円 道路境界保全工事：日レキ特殊工事(株) 36,690,312円						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額		41,035	40,796	37,639	38,308	48,676	49,193
①決算額（28年度は見込み）		35,389	35,915	36,712	34,790	47,136	44,189	50,055
②人件費等		63,727	61,920	60,496	63,716	45,788	39,879	
③減価償却費		24,983	26,746	27,752	30,082	23,082	21,400	
【事務分担量】（%）		895	860	860	890	710	627	
合計（①+②+③）		124,099	124,581	124,960	128,588	116,006	105,468	50,055
特定財源の推移	国							
	都							
	その他							
	一般財源	124,099	124,581	124,960	128,588	116,006	105,468	50,055
実績の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	境界確定申請(件)	141	113	171	186	171	175	
	境界確定図・区域証明発行(件)	1,268	1,232	1,437	1,830	1831	1935	
	不法占有解消道路工事(件)	28	29	28	25	29	22	
	売払いによる不法占有解消(件)	5	2	5	11	10	9	

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
需用費	現場消耗品	1,406	需用費	現場消耗品	1,253	報償費	道路愛称名検討委員会報償費	126
委託料	補足測量委託	3,965	委託料	補足測量委託	4,150	需用費	現場消耗品	1,718
使用料等	児童遊園土地賃借料	1,859	使用料等	児童遊園土地賃借料	1,872	役務費	公文書館複写手数料	3
工事請負費	道路境界保全工事	39,907	工事請負費	道路境界保全工事	36,690	委託料	補足測量委託	4,938
			備品購入費	大型プリンター購入	224	使用料等	児童遊園土地賃借料	1,874
						工事請負費	道路境界保全工事	41,396

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度 見込み	目標値 (28年度)	
標	① 境界確定件数	186	146	159	-	-	関係権利者の合意に基づく確定
	② 不法占有解消件数	25	29	22	-	-	境界確定に基づく道路保全工事
	③						

問題点・課題 (指標分析)	①道路区域や官民境界の調査を行う敷地調査は、平成元年から15年度までに区内の50%の調査を実施したが、多額の予算を必要とすることや、地籍調査への移行も含めて検討を要するため中断。
	②不法占有等により道路としての機能を消失し実態のない法定外公共物について、建替え時の助成制度を改めて周知し、売払いとともに入燃化促進につなげる必要がある。
他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む 具体的な改善内容	平成27年度に実施した 改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	適正な道路管理のための考え方を整理し、道路台帳デジタル化に向けた確認作業を行う	適正な道路管理のための考え方の整理 ・ 寄付・帰属に関すること ・ 台帳デジタル化に向けた基礎調査	寄付・帰属に関する基本的な考え方を整理し、道路台帳平面図のデジタル化に向けた検討を進める
②	不燃化建物への建替えを促進するため区道として管理できない法定外公共物の積極的な売払いを実施	法定外公共物の売払い（27年度申請）9件、約186㎡、1,636万円（うち区道用地の売払い1件、約33㎡、328万円）	不燃化特区内の占有者に対し、建て替え時の助成制度を改めて周知し、売払いとともに入燃化促進につなげる
③	関係地権者の理解を得ながら、道路等の適正管理の推進	道路境界保全工事 22件、L型側溝約284m施工	境界確定担当及び建築指導課との連携を強化し、適切な道路財産管理をし防災力の向上に努める

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
推進	推進	道路を適正に管理するため、必要な事業である。

況 (要旨)	【平成23年第二回定例会】 旧江川堀の整備について。 【平成25年第四回定例会】 江川堀の境界確定と不法占拠について
-----------	---

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-04-06	戦略プラン	○協働 ●業務 ○財務 ○人事
事務事業名	道路台帳補正	部課名	防災都市づくり部施設管理課	課長名
		担当者名	三浦	内線
	01-05-02	道路台帳補正費		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）				
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）		○建設事業	●それ以外の継続事業
開始年度	●昭和 ○平成	28年度	根拠	道路法
終期設定	○有 ●無	年度	法令等	
実施基準	●法令基準内 ○都基準内 ○区独自基準	計画区分	○計画 ●非計画	
行政評価事業体系	分野	IV	環境先進都市	
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成	
	施策	03	快適な生活道路の整備	
目的	区道の認定・改廃及び細街路の拡幅整備事業等により、区域の変更があった箇所について道路台帳を補正する。			
対象者等	区民等			
内容	1 区道の認定・廃止・区域変更（細街路拡幅整備箇所・市街地整備箇所等の変更箇所）に対して、測量を実施し、道路台帳平面図及び調書を補正する。 2 細街路拡幅整備箇所等について図面化と求積を行い、区道等区域に編入するための図書を作成する。			
経過	昭和40年度 道路台帳現況平面図の調製開始 平成11年度 道路認定事務（細街路）と道路台帳作成費を統合 平成12年度 道路管理センター端末による地下埋設物台帳平面図の閲覧開始			
必要性	道路法第28条の規定により、道路管理者は道路台帳の調製・保管が義務付けられている。			
実施方法	（2一部委託） （直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） 道路台帳補正委託：（株）ヤチホ ￥10,681,200（平成27年度）			

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
予算額	14,398	13,665	13,013	12,250	11,827	11,610	11,589	
①決算額（28年度は見込み）	12,548	10,872	10,391	10,920	10,573	10,681	11,589	
②人件費等	3,488	3,388	3,304	3,327	2,704	3,232		
③減価償却費	1,162	1,244	1,291	1,352	1,138	1,433		
【事務分担当量】（%）	40	40	40	40	35	42		
合計（①+②+③）	17,198	15,504	14,986	15,599	14,415	15,346	11,589	
特定財源								
国								
都								
その他								
一般財源	17,198	15,504	14,986	15,599	14,415	15,346	11,589	
実績の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	道路台帳補正延長（m）	6,000	6,850	6,883	5,007	4,946	4,270	
	細街路等区域編入件数	103	97	102	114	106	109	
	細街路等区域編入延長（m）	1,110	1,253	1,109	1,012	1,315	1,209	

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
委託料	道路台帳補正委託	10,573	委託料	道路台帳補正委託	10,681	委託料	道路台帳補正委託	11,589

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)	
標	① 道路台帳補正（%）	100	100	100	100	100	変更部分の台帳補正
	②						
	③						

問題点・課題 （指標分析）	<p>・道路構造令において車道と歩道の境は、街きよ側溝内側となっている。そのため台帳平面図において歩道のない道路幅員についてはL形側溝の内側寸法表示となっている。そこで道路幅員を閲覧する際、実際の管理幅員と差異が10～20cm生じていることを、必ず相手方にこの説明をしている。</p> <p>歩道のない道路の幅員表示をL形側溝外側に変更することによって、説明が不要になり、勘違いも起こりにくくなり効率的な対応が可能になる。</p>
	<p>（実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）</p>
他区の実況	

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	道路台帳平面図の総幅員表示への変更のために必要な作業の方法や委託方法等について継続して検討を行う。	道路台帳平面図の道路幅員を総幅員で表示するために必要な作業方法や委託方法等についての検討を行った。	道路台帳平面図の道路幅員を総幅員で表示するために必要な作業方法や委託方法等についての検討を引き続き行っていく。
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
継続	継続	道路台帳の調製は道路法に規定される道路管理者の義務である。

況議 （要 会 質 問 状	
------------------------------	--

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-05-04	戦略プラン	○協働 ●業務 ○財務 ○人事	
事務事業名	道路ストック総点検事業	部課名	防災都市づくり部道路公園課	課長名	大木
		担当者名	芹澤	内線	2734
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-03-01	道路ストック総点検事業費			
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）		○建設事業 ●それ以外の継続事業		
開始年度	○昭和 ●平成 26年度		根拠	道路法	
終期設定	○有 ●無 年度		法令等		
実施基準	■法令基準内 □都基準内 □区独自基準		計画区分	○計画 ●非計画	
行政評価事業体系	分野	IV 環境先進都市			
	政策	08 良好で快適な生活環境の形成			
	施策	03 快適な生活道路の整備			
目的	道路利用者及び第三者への被害防止を目的に、橋梁、舗装、のり面、土工構造物、道路附属物を対象とした点検・調査を実施する。また、点検で得られた結果を管理システムに収録し、今後の維持管理業務の効率化を図るとともに、予防保全型維持管理へ向けた計画立案の基礎資料として活用していく。				
対象者等	道路利用者				
内容	◇点検対象 ①橋梁（下御・第二）②路面性状基礎調査（舗装構造40型以上、幅員6m以上）③道路のり面（擁壁等含む） ④土工構造物（カルバート）⑤道路標識 ⑥道路照明施設（28年度までに完了するLEDリース分や小型照明灯を除く。）⑦道路反射鏡 ◇点検内容 総点検実施要領（案）（平成25年2月国土交通省道路局）に基づき点検を実施し、将来的に道路利用者及び第三者への被害が生じる可能性があるかを把握するため、危険度の判定を行う。 道路橋については、橋梁定期点検要領（平成26年6月国土交通省道路局国道・防災課）に基づき点検を実施する。				
経過	◇平成24年12月2日 中央自動車道笹子トンネル天井板崩落事故発生 ◇平成25年2月27日 国土交通省から道路ストック総点検の実施要請（国道企第105号） ◇平成27年3月 道路ストック総点検完了（跨線道路橋除く） ◇平成28年3月 跨線道路橋2橋（第二日暮里跨線道路橋・下御隠殿坂跨線道路橋）の定期点検完了 点検の変更協定（54,576千円減額 76,002千円→21,426千円）				
必要性	道路ストック総点検を実施し、そのデータに基づき、計画的な改修工事を行うことが、適正な道路の維持管理につながる。				
実施方法	（3委託）（直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） ◇橋梁点検負担金 決算額¥21,159,503- ※JR東日本委託 ◇橋梁点検委託 決算額¥7,344,000-				

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		予算額	-	-	-	-	79,926	47,048
①決算額（28年度は見込み）		-	-	-	-	78,456	29,670	1,167
②人件費等		-	-	-	-	6,180	10,390	
③減価償却費		-	-	-	-	2,601	4,608	
【事務分担当量】（%）		-	-	-	-	80	135	
合計（①+②+③）		0	0	0	0	87,237	44,668	1,167
特定財源の推移	国					-	23,650	8,250
	都							
	その他							
	一般財源	0	0	0	0	63,587	36,418	1,167
実績の推移	橋梁点検（箇所）					4	2	
	路面性状基礎調査（m）					68,192		
	道路標識点検（箇所）					756		
	道路照明施設点検（箇所）					3,765		

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
委託料	総点検及び管理システム構築業務	78,456	委託料	橋梁点検、システム保守	8,510	委託料	システム保守	1,167
			負担金補助等	JR東日本との点検協定	21,160			

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)	
①	道路の損傷や附属物に対する陳情件数	-	240	226	150	100	陳情件数を限りなくゼロに近づける。(舗装、標識、ミラー)
②	道路改修が必要な道路（箇所）	-	29	28	23	23	路面の状態が悪い箇所の補修を実施する。
③							

問題点・課題 (指標分析)	<ul style="list-style-type: none"> ・総点検により、不具合が発見された舗装及び附属物等の修繕では、莫大な経費が必要となり、計画的に修繕を行う必要がある。 ・橋梁定期点検では、予防保全の観点より塗装塗替え等の修繕を実施することが望ましいとの結果となったが、修繕を行う場合には、鉄道事業者（JR東日本、JR貨物、京成電鉄）との協議が必要となり、工事にあたっては、作業時間、施工方法等に様々な制限がかかるため、通常の工事に比べ費用の増大が見込まれる。
	他区の実況 （実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	点検結果を軸に、工事費の平準化を取り入れた改修計画に基づき、計画的に実施していく。	全ての対象施設の点検が完了し、危険な箇所については修繕を実施した。また、点検結果を基に道路施設の改修計画を策定した。	改修計画に基づき、引き続き道路の適正な維持管理に努め、道路施設の利用者及び第三者被害防止を図る。
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
推進	推進	道路利用者及び第三者への被害防止のため、定期的に点検を実施する必要がある。

況議 (要旨) 会質 問状	H28. 3月 道路下の空洞調査（総括質疑）
------------------------	------------------------

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-05-05	戦略プラン	○協働	●業務	○財務	○人事
事務事業名	道路清掃事業	部課名	防災都市づくり部道路公園課	課長名	大木	担当者名	井戸
							内線
							2757
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-01-01	道路清掃費					
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）			○建設事業		●それ以外の継続事業	
開始年度	●昭和 ○平成		28年度	根拠	道路法		
終期設定	○有 ●無		年度	法令等			
実施基準	●法令基準内 ○都基準内 ○区独自基準			計画区分	○計画 ●非計画		
行政評価事業体系	分野	IV	環境先進都市				
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成				
	施策	03	快適な生活道路の整備				
目的	区が管理する道路への、定期的な清掃等の実施によって良好な道路環境を維持し、地域居住者や通行者等の利便及び安全を確保する。						
対象者等	荒川区が管理する道路						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・路面清掃車による道路清掃委託…広幅員の道路を年51回機械清掃。さらに、そのうち桜が植樹されている路線と落葉の多い路線についてはそれぞれ年4回と年5回の清掃回数上乘せあり。 ・道路（緑地等）清掃委託…特定4地区の人力清掃〔三河島せせらぎ、下御隠殿橋、補助109号線緑地、尾久区民事務所裏〕。 ・道路清掃（緊急）委託…落葉等の苦情に対する緊急対応清掃。 ・西日暮里駅高架下修景施設清掃委託…西日暮里駅ガード下のギャラリーを年6回清掃。 ・雨水柵等排水施設浚渫清掃委託…区内全体で約20,000個ある雨水柵のうち、平成27年度は約4,000個を汚泥吸引車で浚渫清掃。 ・産業廃棄物（汚泥）処理委託…上記浚渫委託で発生した汚泥を処理する。 ・紅葉橋清掃委託…紅葉橋の橋上（灰皿含む）、階段の清掃。 						
経過	<ul style="list-style-type: none"> ・路面清掃車による道路清掃委託…終戦後の失業対策事業から引き継がれている。 ・西日暮里駅高架下修景施設清掃委託…施設設置後、平成8年度より委託（道路付属物としてギャラリー化）。 ・道路特別清掃…平成3年度より委託（同18年に同11年創設の南千住地域清掃と統合）。 ・雨水柵等排水施設浚渫清掃委託及び産業廃棄物（汚泥）処理委託…委託開始時期は不明（昭和40年代後半から委託化したと思われる）。 ・道路（緑地等）清掃委託…平成28年度より「公園・児童遊園等清掃委託」の一部として実施。 ・紅葉橋清掃委託…平成28年度より一部（灰皿清掃等）を環境課からの執行委任で実施。 						
必要性	地域居住者や通行者等の利便及び安全を確保するために、道路を常に良好な状態にしておく必要がある。						
実施方法	（3委託）（直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） ・委託件数：10件（合計64,042,948円）（H27）						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算額		77,637	78,126	73,470	71,694	69,647	67,921	67,736
①決算額（28年度は見込み）		74,421	76,863	71,493	68,961	66,401	64,566	67,736	
②人件費等		12,523	11,427	10,950	12,147	12,311	10,449		
③減価償却費		6,740	7,464	7,422	7,030	7,087	5,666		
【事務分担量】（%）		232	240	230	208	218	166		
合計（①+②+③）		93,684	95,754	89,865	88,138	85,799	80,681	67,736	
特定財源	国								
	都	道路特別清掃費	11,495	11,061	10,120	10,008	9,038	8,988	9,089
	その他								
一般財源		82,189	84,693	79,745	78,130	76,761	71,693	58,647	
実績の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	路面清掃車による清掃（m）	51,110	51,460	51,460	51,460	51,460	50,510	50,510	
	道路特別清掃（延km ² ）	2.433	2.341	2.142	2.141	1.870	1.870	1.870	
	雨水柵浚渫清掃箇所（個）	6,500	6,500	6,500	4,000	3,713	3,958	4,000	
カーブミラー清掃面数（面）	649	0	700						

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
役務費	へい死動物等死体処理	619	役務費	へい死動物等死体処理	523	需用費	清掃用消耗品	316
委託料	路面清掃車による道路清掃委託外	65,782	委託料	路面清掃車による道路清掃委託外	64,043	役務費	へい死動物等死体処理	877
						委託料	路面清掃車による道路清掃委託外	66,543

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)	
標	① 路面清掃車による清掃実施率 (%)	100	100	100	100	100	
	② 道路特別清掃実施率 (%)	100	100	100	100	100	
	③						

問題点・課題 (指標分析)	①道路清掃は、区道の中でも広幅員で交通車両が多い路線や、ごみの量が多く出やすい特定の路線のみを定期的に実施しているが、幅員が狭い生活道路等は実施していない。そのため、生活道路に面している居住者等から落葉の時期などに道路清掃の要望が多い。
	②不法投棄が、人通りの少ない地区を中心に目立っている。
他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	個人住宅や店舗等に接する生活道路の門前清掃への理解や協力を求めていく。	区の清掃事業への理解や協力をお願いするとともに、街路樹の剪定時期などで落葉の発生を抑制する工夫をしている。	引き続き、生活道路の門前清掃への理解や協力を求めていく。
②	委託業者や道路管理部署との連携を密にし、区道への不法投棄対策に取り組んでいく。	委託業者や道路管理部署との連携を図った。	引き続き、委託業者や道路管理部署との連携を密にしていく。
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
継続	継続	道路を安全で快適な状態に維持するうえで重要である。

況議 (要 会 質 問 状)	
-------------------------------	--

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
需用費	電気・ガス料金等、消耗品・修繕費	6,146	需用費	電気・ガス料金等、消耗品・修繕費	6,430	需用費	電気・ガス料金等、消耗品・修繕費	7,533
役務費	事務所通信費・ゴミ処理料	88	役務費	事務所通信費・ゴミ処理料	88	委託料	連絡通路EV・ES保守点検委託外	27,190
委託料	連絡通路EV・ES保守点検委託外	20,931	委託料	連絡通路EV・ES保守点検委託外	21,195	使用料等	防犯カメラ賃借料	571
使用料等	防犯カメラ・コピー機等使用料	637	使用料等	防犯カメラ・コピー機等使用料	641	工事請負費	道路応急工事外	44,776
工事請負費	道路応急工事	29,755	工事請負費	道路応急工事	32,429	原材料費	道路補修用原材料	2,200
原材料費	道路補修用原材料	1,706	原材料費	道路補修用原材料	1,861	負担金補助等	日暮里舎人線負担金	5,508
負担金補助等	日暮里舎人線負担金	5,450	負担金補助等	日暮里舎人線負担金	5,371			

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度 見込み	目標値 (28年度)	
標	① 透水性舗装の機能回復施工面積 (㎡/年)	651	917	727	887	887	総面積(車道):78,802㎡
	② エレベーター等保守点検委託(式)	1	1	1	1	1	下御隠殿橋:EV(1台)、南千住駅連絡通路:EV(2台)、
	③						エスカレーター(2台)外

（問題点・課題分析）	・エレベーター及びエスカレーターの点検については、点検項目と定期的な実施が法で定められており、コスト削減を図ることが困難である。
	（実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）
他区の実況	

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	透水性舗装機能回復委託について、より広い面積の機能回復が図れる方法で実施する。	労務単価の高騰による影響が大きく、結果的に予定した規模の実施ができなかった。	現場の状況を精査し、より効果的な箇所を対象として実施するよう努める。
②	エレベーター及びエスカレーターについて、適正に点検を行い、緊急的な修繕が発生しないよう努める。	コストの削減はできなかったが、適正に点検することによって、突発的な修繕はなかった。	適正に点検を行い、緊急的な修繕が発生しないよう努める。
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
継続	継続	道路の機能を常に良好な状態に維持するため、不可欠な事業である。

況議 （要 会 質 問 状	
------------------------------	--

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-05-07	戦略プラン	○協働 ●業務 ○財務 ○人事
事務事業名	道路損傷復旧事業	部課名	防災都市づくり部道路公園課	課長名
		担当者名	熊谷	内線
	01-03-01	道路損傷復旧工事費		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）				
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）		○建設事業 ●それ以外の継続事業	
開始年度	●昭和 ○平成 60年度		根拠	道路法
終期設定	○有 ●無 年度		法令等	荒川区道路損傷に伴う復旧工事事務取扱要綱
実施基準	●法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	○計画 ●非計画
行政評価事業体系	分野	IV	環境先進都市	
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成	
	施策	03	快適な生活道路の整備	
目的	損傷した道路附属物及び道路の機能回復を通じ、通行の安全を確保するものである。			
対象者等	損傷原因者			
内容	車両の衝突等によって損傷した街路灯、カーブミラー及びガードパイプ等の道路附属物並びに道路を復旧する。			
経過	（参考）決算額 ・平成15年度 ￥323,400 ・平成16～27年度 ￥0			
必要性	通行の安全を確保するため、速やかな損傷復旧が必要である。			
実施方法	（3委託） （直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員）			

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
予算額	382	382	382	382	442	521	590	
①決算額（28年度は見込み）	0	0	0	0	0	0	590	
②人件費等	1,744	1,270	1,239	2,803	1,931	1,924		
③減価償却費	581	467	484	1,690	813	853		
【事務分担量】（%）	20	15	15	50	25	25		
合計（①+②+③）	2,325	1,737	1,723	4,493	2,744	2,777	590	
特定財源	国							
	都							
	その他	139	669	716	182	445	113	648
一般財源	2,186	1,068	1,007	4,311	2,299	2,664	-58	
実績の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	損傷件数	38	37	58	45	35	33	

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
工事請負費	損傷復旧工事	0	工事請負費	損傷復旧工事	0	工事請負費	損傷復旧工事	590

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)	
標	① 損傷件数(件)	45	35	33	-	-	
	② 損傷件数のうち原因者判明件数(件)	29	32	25	-	-	
	③ 原因者負担率(%)	65	91	75	-	100	原因者判明数／損傷件数

問題点・課題 (指標分析)	① 損傷原因者が特定できない場合がある。 ② 復旧工事を実施するにあたり、当該原因者が損害保険を適用する機会が多く、工事完了まで期間を要する。
	他区の実況 (実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	損傷原因者の特定を推進し、区の費用負担の軽減を図る。	交通管理者と連携し、1件原因者を特定した。	交通管理者と連携し、原因者の特定を推進するとともに、区の費用負担の軽減を図る。
②	復旧工事着手までの期間短縮による安全確保を図る。	損害保険会社に対し、工事着手までの間の安全確保を行うよう指示した。	引き続き、復旧工事着手までの期間短縮による安全確保を図る。
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
継続	継続	道路附属物等の損傷に対応する手段の一つとして必要な事業である。

況議 (要 会 質 問 状)	
-------------------------------	--

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-05-08	戦略プラン	○協働	●業務	○財務	○人事
事務事業名	道路応急工事業	部課名	防災都市づくり部道路公園課	課長名	大木	担当者名	茂手木
				内線	2738		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-04-01	道路応急工事費					
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）			●建設事業		○それ以外の継続事業	
開始年度	●昭和 ○平成		47年度	根拠	道路法		
終期設定	○有 ●無		年度	法令等			
実施基準	●法令基準内 ○都基準内 ○区独自基準			計画区分	○計画 ●非計画		
行政評価事業体系	分野	IV	環境先進都市				
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成				
	施策	03	快適な生活道路の整備				
目的	道路構造物及び道路附属物に破損があった場合、年間単価契約の工種の組み合わせにより、応急的に機能を復旧する。						
対象者等	荒川区が管理する道路						
内容	区民からの通報、要望のほか、道路監察等によって発見された道路の破損等について、年間単価契約による請負工事で応急に対応する。 ・28年度契約 道路応急維持工事（東地区） 三桜建設(株) 50,059,965円 道路応急維持工事（西地区） 山藤建設工業(株) 50,059,965円						
経過	・昭和47年 4月1日：昭和47年度より道路応急工事を開始 区内を二分割し（東地区、西地区）実施している。 25年度 道路応急維持工事（東地区） 山藤建設工業(株) 26,013,203円（決算額） 道路応急維持工事（西地区） 三桜建設(株) 23,178,549円（決算額） 26年度 道路応急維持工事（東地区） 山藤建設工業(株) 33,039,166円（決算額） 道路応急維持工事（西地区） 三桜建設(株) 44,332,249円（決算額） 27年度 道路応急維持工事（東地区） 三桜建設(株) 33,039,166円（決算額） 道路応急維持工事（西地区） 山藤建設工業(株) 44,332,249円（決算額）						
必要性	道路を利用する歩行者及び車両等の安全な通行を確保するために不可欠な事業であり、必要性は高い。						
実施方法	（3委託） （直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） ・現場確認・作業指示・施工監督・出来高確認は直営 ・施工は請負工事による。						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額		60,964	60,333	56,987	52,078	58,925	78,200
①決算額（28年度は見込み）		61,926	60,245	56,807	49,192	53,771	77,371	64,229
②人件費等		6,104	2,948	4,957	5,478	4,635	4,680	
③減価償却費		2,034	1,182	1,937	3,549	1,951	2,901	
【事務分担量】（%）		70	38	60	105	60	85	
合計（①+②+③）		70,064	64,375	63,701	58,219	60,357	84,952	64,229
特定財源の推移	国							
	都							
	その他							
	一般財源	70,064	64,375	63,701	58,219	60,357	84,952	64,229
実績の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	施工件数（件）	143	124	144	102	110		

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
工事請負費	道路応急維持工事	53,771	工事請負費	道路応急維持工事	77,371	工事請負費	道路応急維持工事	64,229

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)	
標	① 技能職員による陳情処理件数(件)	475	513	310	-	-	樹木・街路灯に関する件数は除く
	② 道路応急維持工事による施工件数(件)	102	167	91	-	-	施工件数／依頼を受けた件数
	③						

問題点・課題 (指標分析)	<ul style="list-style-type: none"> ・技能職員の削減により、応急維持工事による対応が増え、予算不足が生じている。 ・道路改修工事による整備から、年数が経過した路線が多くなっており、応急維持工事で対応する規模が年々大きくなってきている。計画的な道路の修繕が必要である。
	他区の実況 （実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	道路ストック総点検の成果に基づき、計画的に修繕を実施する体制を構築する。	道路ストック総点検の結果をもとに状態の悪い路線を点検し、メンテナンスの優先順位を付けた。	道路ストック総点検の対象以外の路線の修繕計画についても検討する必要がある。
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
継続	継続	道路を常に良好な状態に保つため、緊急に対応する工事は不可欠である。

況議 (要 会 質 問 状)	
-------------------------------	--

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-05-10	戦略プラン	○協働	●業務	○財務	○人事
事務事業名	街路樹等管理事業	部課名	防災都市づくり部道路公園課	課長名	大木	担当者名	廣澤
				内線	2757		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-06-01	街路樹等管理費					
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）			○建設事業		●それ以外の継続事業	
開始年度	●昭和 ○平成		28年度	根拠	道路法		
終期設定	○有 ●無		年度	法令等			
実施基準	■法令基準内 ○都基準内 ○区独自基準			計画区分	○計画 ●非計画		
行政評価事業体系	分野	IV	環境先進都市				
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成				
	施策	03	快適な生活道路の整備				
目的	市街地における街路樹を常時良好な状態に維持管理し、美しい都市景観を形成するとともに良好な生活環境を創出する。						
対象者等	道路等の利用者						
内容	<p>1 定期的な剪定等による維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街路樹等剪定作業委託 歩道設置路線等における67路線の街路樹剪定年1回～各年（夏期・冬期）支障枝の剪定、枯損木の撤去 総本数 約2,400本 ・荒川公園等花壇維持管理委託 荒川公園を除いた区道内の花壇5箇所の花植え替え（年4回） ・グリーンベルト維持管理作業委託 歩道設置路線等（104路線）の植樹帯約35,200mの除草清掃（年3回）刈込（年1回）の他、灌水・手入れ等 <p>2 緊急対応（発生状況に応じて対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街路樹等病虫害防除 街路樹・植樹帯の病虫害の防除 						
経過	<p>平成2年 ・街路樹関係業務を公園緑地課から道路課へ移管</p> <p>平成7年 ・花壇維持管理業務開始</p> <p>平成27年 ・街路樹等剪定作業委託に病虫害防除作業を含めた。</p>						
必要性	人や車の通行の支障となる枝の剪定や、災害時において倒木の恐れがある枯木の撤去など、植栽を常時良好な状態に維持し、道路利用者の安全を確保する必要がある。						
実施方法	（3委託）（直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） 委託3件 総額46,225,834円（H27）						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額		54,751	50,578	48,052	45,271	42,588	48,058
①決算額（28年度は見込み）		50,196	48,503	45,777	44,762	40,697	46,856	48,063
②人件費等		8,720	6,128	6,526	6,737	5,408	5,079	
③減価償却費		2,905	2,457	2,549	2,738	2,276	2,253	
【事務分担量】（%）		100	79	79	81	70	66	
合計（①+②+③）		61,821	57,088	54,852	54,237	48,381	54,188	48,063
特定財源の推移	国							
	都							
	その他							
	一般財源		61,821	57,088	54,852	54,237	48,381	54,188
実績の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	街路樹剪定等作業委託（本数）	1,527	1,220	1,660	1,708	1,585	1023	
	グリーンベルト維持管理作業委託（㎡）	9,925	10,626	10,795	11,313	11,299	11352	
	植樹帯花壇維持管理作業委託（㎡）	67	52	55	52	52	53	

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
需用費	消耗品	165	需用費	消耗品	114	需用費	消耗品	224
委託料	街路樹剪定作業等委託外	40,082	委託料	街路樹剪定作業等委託外	46,226	委託料	街路樹剪定作業等委託外	47,261
使用料等	高所作業車リース	112	使用料等	高所作業車リース	177	使用料等	高所作業車リース	234
原材料費	原材料	338	原材料費	原材料	339	原材料費	原材料	344

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度 見込み	目標値 (28年度)	
標	① 街路樹剪定率(%)	76	65	42	65	100	実施本数／対象本数
	② 植樹帯花壇管理(%)	100	100	100	100	100	実施花壇数／対象花壇数
	③ グリーンベルト維持管理(%)	100	100	100	100	100	実施面積／対象面積

（問題点・課題 指標分析）	①街路樹にサクラなどの高木を植栽している路線において、樹木の成長に伴い、根が歩道舗装（ILB・平板・アスファルト）等を持ち上げ、歩行者等の安全な通行に問題が生じている箇所がある。
	②樹木の幹や枝が道路構造令上の建築限界にかかる街路樹（特にサクラ）が見受けられ、近年では、トラックの接触による倒木や枝折れも発生している。
	③街路樹に関し、近隣住民や道路利用者から要、不要等様々な意見が寄せられ、対応に苦慮している。また、街路樹が老木化している路線では、安全確保のため植え替えが必要な時期に来ているが、住民の理解を得ることが難しい。
他区の実況	（実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区）

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む 具体的な改善内容	平成27年度に実施した 改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	樹木の根上がりについて、危険な箇所については補修工事を行う。	根上がりによる危険箇所について部分補修を行った。	根上がりによる危険箇所について補修工事を行う。
②	街路樹が建築限界を侵さぬよう現地調査を実施し、危険な樹木については対応する。	車道に張り出した危険な枝の除去を行った。	主幹が車道に出て危険な樹木や枝は、除去に努める。
③	老木について現地調査を実施し、危険な樹木については対応する。	危険と判断した枯損木については伐採した。	老木については、腐食の状況等を確認し、危険木の除去に努める。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
推進	推進	都市景観の形成や環境問題、更には災害時の減災の観点から、街路樹等の継続的な維持管理は必要である。

況議 （要 旨） 問 状	
--------------------------	--

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-05-11	戦略プラン	○協働 ●業務 ○財務 ○人事													
事務事業名	道路改修事業	部課名	防災都市づくり部道路公園課	課長名	大木												
		担当者名	茂手木	内線	2738												
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-01-01	道路改修費															
	01-05-01	（仮称）荒川二丁目複合施設周辺道路整備費															
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）		●建設事業		○それ以外の継続事業												
開始年度	●昭和 ○平成 28年度		根拠	道路法													
終期設定	○有 ●無 年度		法令等														
実施基準	●法令基準内 ○都基準内 ○区独自基準		計画区分	○計画 ●非計画													
行政評価事業体系	分野	IV 環境先進都市															
	政策	08 良好で快適な生活環境の形成															
	施策	03 快適な生活道路の整備															
目的	老朽化した道路舗装及び側溝等の排水施設等を改修することにより、安全で快適な道路環境を確保する。																
対象者等	区が管理する道路を通行する区民等																
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化や損傷の著しい路線を対象に、舗装の打替え及びL形側溝・雨水柵・取付管の取替えを行う。 ・25年～30年程度経過した路線を中心に計画的に実施する。 ・密集事業を行っている荒川二・四・七丁目地区の優先整備路線4号線において、用地取得後の拡幅整備工事を実施する。 																
経過	<p>◆道路改修費 昭和28年度より実施 （道路改修路線数）</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">平成23年度 工事路線数：18路線</td> <td style="width: 50%;">◆（仮称）荒川二丁目複合施設周辺道路整備 平成26年度 電線共同溝設置工事</td> </tr> <tr> <td>平成24年度 工事路線数：9路線</td> <td>平成27年度 街路灯設置工事・道路改良工事</td> </tr> <tr> <td>平成25年度 工事路線数：8路線</td> <td>荒315号線 延長約105m</td> </tr> <tr> <td>平成26年度 工事路線数：8路線</td> <td>荒316号線 延長約83m</td> </tr> <tr> <td>平成27年度 工事路線数：7路線</td> <td>荒43号線 延長約60m</td> </tr> <tr> <td>平成28年度 工事予定路線数：10路線</td> <td>平成28年度 荒315号線・荒43号線 延長約50m（予定）</td> </tr> </table>					平成23年度 工事路線数：18路線	◆（仮称）荒川二丁目複合施設周辺道路整備 平成26年度 電線共同溝設置工事	平成24年度 工事路線数：9路線	平成27年度 街路灯設置工事・道路改良工事	平成25年度 工事路線数：8路線	荒315号線 延長約105m	平成26年度 工事路線数：8路線	荒316号線 延長約83m	平成27年度 工事路線数：7路線	荒43号線 延長約60m	平成28年度 工事予定路線数：10路線	平成28年度 荒315号線・荒43号線 延長約50m（予定）
平成23年度 工事路線数：18路線	◆（仮称）荒川二丁目複合施設周辺道路整備 平成26年度 電線共同溝設置工事																
平成24年度 工事路線数：9路線	平成27年度 街路灯設置工事・道路改良工事																
平成25年度 工事路線数：8路線	荒315号線 延長約105m																
平成26年度 工事路線数：8路線	荒316号線 延長約83m																
平成27年度 工事路線数：7路線	荒43号線 延長約60m																
平成28年度 工事予定路線数：10路線	平成28年度 荒315号線・荒43号線 延長約50m（予定）																
必要性	区民に安全で快適な生活環境を提供するため、区民生活に欠かせない施設である道路の改修をすることは必要である。																
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） ・設計は直営による。 ・工事は請負工事による。																

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額		127,857	129,026	183,687	85,958	169,860	202,997
①決算額（28年度は見込み）		126,333	128,030	171,571	84,939	142,646	180,685	184,340
②人件費等		15,696	32,192	25,278	9,565	22,632	13,083	
③減価償却費		12,346	12,907	9,875	3,887	10,728	5,802	
【事務分担量】（%）		425	415	306	115	330	170	
合計（①+②+③）		154,375	173,129	206,724	98,391	176,006	199,570	184,340
特定財源の推移	国					13,638	6,750	20,878
	都					6,819	3,375	814
	その他					1,020		
	一般財源							
		154,375	173,129	206,724	98,391	154,529	189,445	162,648
実績の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	側溝改修延長(m)	1,903	2,557	1,022	945	1,830		
	舗装改修面積(m ²)	6,572	6,490	3,950	3,422	3,155		

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
委託料	設計委託	6,719	工事請負費	道路改修工事	108,516	委託料	測量委託	2,838
委託料	測量委託	2,473	工事請負費	道路改良工事	46,922	工事請負費	道路改修工事	163,930
工事請負費	電線共同溝設置工事	41,676	負担金補助等	電線共同溝引込管路工事負担金	25,247	工事請負費	道路改良工事	17,572
工事請負費	道路改修工事	89,786						
備品購入費	大判プリンター	273						
負担金補助等	電線共同溝引込管路工事負担金	1,718						

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)	
標	① 側溝改修延長(m)	945	1,301	1,260	1,343	1,000	施工実績
	② 舗装改修面積(m ²)	3,422	3,073	4,294	4,006	4,000	施工実績(道路復旧費分を含む)
	③						

問題点・課題 (指標分析)	①25～30年経過した老朽化した路線が増え続けており、限られた予算で効果的に改修工事を進めるために、優先順位を定め、計画的に改修を実施する必要がある。
	②工事コストの削減を図るため、舗装構造を見直すなど効率的な工事方法を検討していく必要がある。
他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	客観的な指標で路面状況を判断し、優先度の高い順に改修路線を選定する。	平成26年度に実施した道路ストック総点検の結果をもとに、状況の悪い判定のあった路線を点検し、修繕計画を立てた。	修繕計画に基づき整備を進めていく。
②	設計内容や工事方法を工夫し、工事コストの削減を検討する。	国費の担当窓口である東京都と協議をし、H28年度より補助金を導入することになった。	舗装構造や、施工方法を工夫し、コスト削減を検討する。
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
推進	継続	安全かつ安心して通行できる道路の機能を果たすため、計画的な道路改修が必要である。

議 会 要 旨 状	
-----------------------	--

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-05-15	戦略プラン	○協働 ●業務 ○財務 ○人事
事務事業名	紅葉坂跨線人道橋整備事業	部課名	防災都市づくり部道路公園課	課長名
		担当者名	茂手木	内線
				2738
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	---			
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）		●建設事業 ○それ以外の継続事業	
開始年度	○昭和 ●平成	19年度	根拠	「橋、高架の道路等の技術基準」、バリアフリー新法
終期設定	○有 ●無	年度	法令等	
実施基準	●法令基準内 ○都基準内 ○区独自基準		計画区分	○計画 ●非計画
行政評価事業体系	分野	IV	環境先進都市	
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成	
	施策	03	快適な生活道路の整備	
目的	老朽化に伴う損傷が著しい紅葉坂跨線人道橋の安全性の確保を図る。			
対象者等	紅葉坂跨線人道橋を通行する区民等			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・区とJR東日本の両方で財産を持っているので、JR東日本と共同で調査を実施。架け替え等の検討を行って行く。 ・橋長 106.6m（内、JR東日本管理区間 30m） ・架橋時期 昭和3年 			
経過	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和60年度：幅員4mに拡幅・改修後、国鉄（JR東日本）から区へ移管 ・昭和63年度：塗装工事及び手摺設置工事 ・平成3年度：耐震調査委託 ・平成19年度：現況調査委託 ・平成22年度：補修工事、架け換え工事に向けた協議 ⇒ JR東日本、京成電鉄 ・平成24年度：常磐線ホーム拡幅のための紅葉橋脚撤去工事に関する施工協議書取り交わし ・平成25年度：常磐線ホーム拡幅のため紅葉橋脚撤去 JR工事範囲外のJR線上空部分（荒川区財産区域）高欄の一部補修 ・平成26年度：JRと共同で耐震診断、部材の健全度調査等を実施 ・平成27年度：H26年度の調査結果を基に、JRと共同で比較設計、バリアフリーの検討 			
必要性	当該跨線人道橋はJRや京成の線路を跨いでおり、落橋等による事故を回避するため、良好な状態に保っていく必要がある。			
実施方法	（3委託）（直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） ・耐震診断等についてはJR東日本に委託 ・階段部分の補修工事は請負にて実施			

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		予算額	—	—	—	3,766	36,505	37,525
①決算額（28年度は見込み）		—	—	—	3,460	28,003	36,257	0
②人件費等		1,744	3,491	4,131	1,663	3,863	3,463	
③減価償却費		581	1,400	1,614	676	1,626	1,536	
【事務分担当量】（%）		20	45	50	20	50	45	
合計（①+②+③）		2,325	4,891	5,745	5,799	33,492	41,256	0
特定財源	国							
	都							
	その他							
	一般財源	2,325	4,891	5,745	5,799	33,492	41,256	0
実績の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	耐震診断等（負担金）	—	—	—	—	実施予定		
	階段部補修補修工事	—	—	—	—	実施予定		
	高欄補修（負担金）	—	—	—	実施	—		

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
工事請負費	補修工事	2,700	負担金補助等	設計委託負担金	36,257			
負担金補助等	調査設計負担金	25,303						

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)	
標	① 架替となった場合（％）	-	-	-	-	-	調査5%、設計35%、施工60%
	② 負担金による補修工事（式）	1	-	-	-	-	JR上空部高欄補修
	③ 塗装・補修工事（式）	-	1	-	-	-	階段部補修

（問題点・課題分析）	<ul style="list-style-type: none"> 橋の老朽化が著しいため、早急に補修工事を行う必要がある。 JRとの共有財産のため、今後の方針について協議が必要である。 南口のバリアフリー対策。
	他区の実況 （実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区）

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	診断結果をもとに、補強もしくは架替の詳細設計を行い、今後の工程を判断する。	平成26年度の診断結果をもとに、架替についての調査設計、バリアフリーの検討を行った。	診断結果をもとに今後の方針を判断する必要がある。
②	架替までの安全性を確保するため、補強工事等の協議を進めていく。	健全度調査の結果を受け、東京都の橋梁専門官などに意見を求めながら、補修内容の見直しを検討していく。	架替までの安全性を確保するため、補強工事等の協議を進めて行く。
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
重点的に推進	推進	当該跨線人道橋はJRや京成の線路を跨いでおり、健全な状態を維持していく必要がある。

況議 （要 旨） 問 状	H22年一定：紅葉坂跨線人道橋（通称 紅葉橋）の架替について H22年二定：紅葉坂跨線人道橋（通称 紅葉橋）の架替について H26年11月：紅葉坂跨線人道橋（通称 紅葉橋）の架替について
--------------------------	---

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-05-21	戦略プラン	○協働	●業務	○財務	○人事
事務事業名	私道整備事業	部課名	防災都市づくり部道路公園課	課長名	大木	担当者名	坂本
							内線
							2737
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-01-01	私道整備費					
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）			●建設事業		○それ以外の継続事業	
開始年度	●昭和 ○平成		32年度	根拠法令等	私道工事の受託及び助成に関する条例		
終期設定	○有 ●無		年度				
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準			計画区分	○計画 ●非計画		
行政評価事業体系	分野	IV	環境先進都市				
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成				
	施策	03	快適な生活道路の整備				
目的	区民の生活環境の改善を図るため、公道を補完する私道の整備を行う。						
対象者等	〈私道の 신설・改修工事〉私道の幅員が1.2m以上、沿道の住民が4戸以上、公道または区の整備した私道に接続していること 〈私道の補修工事〉過去に本事業で整備した箇所、または細街路拡幅整備を区で施工した箇所						
内容	〈私道の舗装等の新設・改修工事〉 ・概要：舗装工事（舗装、L形側溝、雨水柵など）、下水工事（下水管、汚水柵など） ・助成率：舗装工事（90～100%）、下水工事（90%） 〈私道の舗装等の補修工事〉 ・概要：下水管の補修や堆積物の除去、陥没等の緊急対応、舗装等の老朽化に伴う破損の補修 ・助成率：100%						
経過	昭和32年 私道舗装実施要綱（内規）を制定し私道整備事業を開始（幅員2.7m以上、交通量が多く公共性のある私道） 昭和39年 公道工事の受託工事に関する条例と規則を制定（幅員1.8m以上、公道に直結、既舗装私道連絡、公道認定前提） 昭和43年 条例一部改正（補修工事の追加・地元負担率の軽減） 昭和46年 条例一部改正（受託要件の改正：幅員1.2m以上） 昭和48年 条例全面改正（私道工事の受託及び助成に関する条例）小補修の追加 昭和59年 条例一部改正（細街路拡幅整備要綱の創設により地元負担率の見直し）						
必要性	区民の生活環境の改善を図るために必要である。						
実施方法	（3委託） （直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） 応急整備については、通年単価契約で実施（H27実績 私道整備応急工事 木村工業㈱ ￥28,979,479-）						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額		60,000	44,200	46,600	52,852	45,437	45,798	48,417
①決算額（28年度は見込み）		56,300	40,999	42,338	52,197	39,617	43,883	48,417
②人件費等		6,606	3,973	4,952	2,535	2,523	2,921	
③減価償却費		2,556	1,835	2,194	1,251	1,463	1,502	
【事務分担当量】（%）		88	59	68	37	45	44	
合計（①+②+③）		65,462	46,807	49,484	55,983	43,603	48,306	48,417
特定財源の推移	国							
	都							
	その他				686	634	535	550
一般財源		65,462	46,807	49,484	55,297	42,969	47,771	47,867
実績の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	私道整備工事実績件数（路線）	3(3)	1(1)	2(3)	2(4)	3(4)	2(3)	
	私道応急工事実績件数	73	79	76	84	45	59	

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
工事請負費	新設改修、応急整備	39,617	工事請負費	新設改修、応急整備	43,883	工事請負費	新設改修、応急整備	48,417

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)	
標	① 私道整備施工路線数	4	4	3	4	4	
	② 私道応急工事件数	84	45	59	59	59	
	③						

問題点・課題 (指標分析)	私道の管理については、基本的に土地所有者が行うものである。しかしながら、施設の破損等の陳情を通行人から受けることがある。
	（実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）
他区の実況	

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	私道の管理について、区が維持管理をしていないことと、条例で規定している助成についての説明を行う。	維持管理を区がしていないことと、土地所有者が管理すべきことを説明した。	引続き、区が維持管理をしていないことの説明を行う。
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
継続	継続	公道を補完する機能を有する私道についても、公道に準じた整備を行う必要がある。

況 (要旨)	議会質問状
-----------	-------

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-05-22	戦略プラン	○協働 ●業務 ○財務 ○人事	
事務事業名	細街路拡幅整備事業（工事）	部課名	防災都市づくり部道路公園課	課長名	大木
		担当者名	坂本	内線	2737
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-01-01	細街路拡幅整備工事費			
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）		●建設事業 ○それ以外の継続事業		
開始年度	●昭和 ○平成 59年度		根拠	建築基準法、東京都安全条例	
終期設定	○有 ●無 年度		法令等	荒川区細街路拡幅整備要綱	
実施基準	●法令基準内 ●都基準内 ●区独自基準		計画区分	○計画 ●非計画	
行政評価事業体系	分野	IV 環境先進都市			
	政策	08 良好で快適な生活環境の形成			
	施策	03 快適な生活道路の整備			
目的	幅員4mの道路空間を確保し、防災性の向上及び住環境の改善を図る。				
対象者等	新築や建替え又は自主後退による細街路に面する敷地				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築基準法第42条第2項に規定する幅員4m未満の道路（細街路）に面した敷地に、建築物の新築や建替え等を行う際に、建築主及び土地所有者の協力を得たうえで、既存道路の中心から2mの位置を道路境界とし、後退部分に区が側溝の設置や路面舗装を実施して拡幅整備する。 ※都市防災推進事業費【国補助1/2】 ・ 事業の流れ <ul style="list-style-type: none"> ①建築指導課が、建築主等からの申請を内容を精査し受理する。 ②道路公園課が、建築指導課から工事依頼を受け、施工する。 ③施設管理課が、当該道路が区道及び管理通路である場合は、工事完了後にその区域の変更を行う。 				
経過	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昭和59年 荒川区細街路拡幅整備要綱施行 ・ 昭和60年 荒川区細街路拡幅整備に伴う助成金交付要綱施行 ・ 平成2年 荒川区細街路拡幅整備要綱の一部改正 				
必要性	密集地域の防災性の向上及び住環境の改善に寄与していることから、必要性は高い。				
実施方法	（3委託） （直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） H27実績（通年単価契約4件で実施）【公道（東）66,650,509】【公道（西）71,273,373】【私道（東）63,467,241】【私道（西）80,988,325】				

（単位：千円）

予算・決算額等の推移			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額		212,763	211,333	288,080	250,757	240,811	297,413	278,133
①決算額（28年度は見込み）		191,993	207,755	206,455	238,956	235,868	282,360	278,133	
②人件費等		7,845	6,446	6,711	6,889	6,319	6,744		
③減価償却費		4,154	4,199	4,356	4,563	4,064	4,642		
【事務分担当量】（%）		143	135	135	135	125	136		
合計（①+②+③）		203,992	218,400	217,522	250,408	246,251	293,746	278,133	
特定財源	国	地区公共施設等整備費・密集住宅市街地整備促進事業費	64,604	60,746	53,146	77,786	51,500	68,122	100,000
	都	密集住宅市街地整備促進事業費	9,302	8,958	5,922	7,077	0	0	
	その他								
	一般財源		130,086	148,696	158,454	165,545	194,751	225,624	178,133
実績の推移	事項名		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	整備件数（公道）（件）		94	98	99	112	108	108	
	整備件数（私道）（件）		106	116	114	126	126	125	
	計（件）		200	214	213	238	234	233	

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
工事請負費	公道・私道細街路拡幅整備工事	235,868	工事請負費	公道・私道細街路拡幅整備工事	282,360	工事請負費	公道・私道細街路拡幅整備工事	278,133

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)	
標	① 区施工の整備延長(m)	2508	2315	2318	2318	2318	
	② 区施工の累積延長(km)	80.5	82.8	85.1	87.4	89.7	目標延長:232km(両側)
	③ 区施工の累積整備率(%)	34	35	36	37	38	区施工の累積延長/目標延長:232km

（問題点・課題 指標分析）	拡幅部分に電柱を移設させた方が、より一層の防災性の向上を図れる場合がある。しかしながら、建築主等の協力が得られず、電柱の移設ができない場合がある。						
	（実施 20 区 未実施 2 区 不明 0 区）						
他区の実況							

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	拡幅部分に電柱を移設させた方がより一層防災性の向上を図れる場合、移設に向け、積極的に建築主等に働きかける。	積極的に建築主等に働きかけた結果、公道の拡幅部分に敷設されていた電柱すべてが移設することになった。	区内にある電柱については、占用物であることから、所有者である企業者へ、移設に向けて積極的であるように指導する。
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
重点的に推進	重点的に推進	防災性の向上や居住環境の改善を図る上で、細街路の拡幅は重要な事業である。

況議 （要 会 質 問 状）	
-------------------------------	--